

Y		Y100		Y10	
7 BC	1 AD	5 00 12 00	16 00 20 00	40 50 60 70 80 90	00 10 20 30 40 50 60 70
8 1	7	6 00 13 00		80 90	
2	6	0 00 7 00 14 00	17 00	00 10 20 30 40 50 60 70 80 90	
3	5	1 00 8 00 15 00		20 30 40 50 60 70 80 90	00 10
4	4	2 00 9 00 ユリウス	18 00	60 70 80 90	00 10 20 30 40 50
5	3	3 00 10 00 グレゴリオ		00 10 20 30 40 50 60 70 80 90	
6	2	4 00 11 00	15 00 19 00	00 10 20 30 40 50 60 70 80 90	
8BC～AD7		AD8～1582.10.4		1582.10.15～	

年の色→その色の中の月の色→

その色のカレンダーがその月のもの。

赤字の年は閏年。その場合、

1・2月は赤字の1・2月を選択する。

その月の色のカレンダーから

曜日がわかる

明治33(1900)年は平年

平成31年(は4月30日まで、令和元年は5月1日より)

Y10	明	10	20	30	40	大	10	昭	10	20	30	40	50	60	平	10	20	30	令
Y1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

A. 年の色を求める

西暦

1. 8BC～AD7 その年の色を求める。この期間は閏年がありません。

2. AD8～ 表は100の位、10の位、1の位で構成されている

Y100	Y10
Y1	

下2桁が00の年の場合、Y100の表に載っているその年の色を求める。年の文字色が赤色の場合は閏年。2000年はベージュ色で閏年。

下1桁が0の年の場合、Y100→Y10とたどり、Y10の表に載っているその年の色を求める。年の文字色が赤色の場合は閏年。

下1桁が0以外の年の場合、Y100→Y10→Y1とたどり、Y1の表に載っているその年の色を求める。年の文字色が赤色の場合は閏年。

元号 表は10の位、1の位で構成されている

Y10
Y1

下1桁が0の年の場合、Y10の表に載っているその年の色を求める。年の文字色が赤色の場合は閏年。

下1桁が0以外の年の場合、Y10→Y1とたどり、Y1の表に載っているその年の色を求める。年の文字色が赤色の場合は閏年。

B. 月の色を求める

2つ目の表は、色と月で構成されている

色
M

さきほど求めた年の色を選び、下のMの表から月の色を求める。その年が閏年の場合、1・2月は赤文字の1・2月を選ぶ。

2000年1月では、ベージュ色の下の、赤文字1月は黄色。

C. 曜日を求める

カレンダーで、さきほど求めた月の色(曜日)を選ぶ。

日付から、その月の色の曜日を読みれば、それが求める曜日です。

2000年1月1日は、黄色帯の曜日から「土曜日」とわかる。

C' 日曜カレンダーとしての読み方

さきほど求めた月の色のついた帯の日が日曜日です。

そこから、求める日の曜日を読み取ります。

2000年1月1日は、黄色帯が日曜日ですから「土曜日」とわかる。